

新名誉会員のお知らせ

下記の通り2月20日開催の理事会・評議員会において新名誉会員が決定いたしましたのでお知らせいたします。
名誉会員推挙式は4月4日午前通常総会にひきつづき開催されます。

川崎製鉄(株)取締役相談役 岩村英郎殿
九州大学名誉教授 新日本製鉄(株)顧問 川合保治殿
日本金属工業(株)代表取締役会長 塚本富士夫殿
東京大学名誉教授 日新製鋼(株)副社長 久松敬弘殿

平成元年秋季（第118回）講演大会討論会

討論講演募集

平成元年秋季（第118回）講演大会（元年9月29日～10月1日）で開催されます討論会講演を下記により募集いたしますので奮ってご応募下さるようご案内いたします。

1. 討論テーマ

I コークス炉における乾留反応と制御 座長 持田 勲（九大）、副座長 西岡 邦彦（住金）

近年のコークス製造技術は、設備集約に伴う炉体延命技術の確立とともにコークス品質の安定と乾留効率の向上に視点が置かれ、コークス炉の宿命ともいえる窯内の乾留偏差改善が重要な課題となっている。

かかる見地より、近年研究されているコークス炉内の乾留反応解析、あるいは乾留反応にもとづいて得られた操業指針および実施された均一乾留技術を御紹介いただき、今後のコークス製造技術の方向について討論を行いたい。各方面からの多数の発表と活発な討論を期待します。

II 偏析制御の現状と将来展望 座長 高橋 忠義（北大）、副座長 綾田 研三（神鋼）

鋼塊および鋼の連続鑄片における偏析の制御は材質向上の基本的条件である。偏析の形成要因の把握あるいは軽減対策も向上しているが、この際統合的に偏析要因を把握し、さらに製造過程に対応した望ましい偏析制御方法について討論したい。今回の主な討論項目、i) 鋼塊の偏析と制御、ii) ビレット、ブルームの偏析と制御、iii) スラブの偏析と制御、iv) 偏析制御の展望（レオキャスト、急速凝固、オスプレーを含む）

III 箔製造技術の現状と問題点 座長 川並 高雄（金沢工大）、副座長 高橋 洋一（神鋼）

近年、製品の付加価値の多様化にともない、アルミ、銅をはじめとし、スチールおよびステンレスなどの箔の需要が活発となつてきている。

そこで、本討論会では、鉄・非鉄箔の製造技術（圧延、その他の方法および潤滑などを含む）の現状と問題点および今後の展望について討論したい。

IV TMCP の特殊鋼及び高炭素鋼への適用 座長 志賀 千晃（川鉄）、副座長 勝亦 正昭（神鋼）

制御圧延、制御冷却、直接焼入れ等に代表される TMCP 製造法は厚板を中心に開発され高張力化、高靱化に大きく寄与している。この製造法は特殊鋼及び高炭素鋼にも適用され、ステンレス鋼ではオン・ライン溶体化で高張力化を得ているし、Cr-Mo 鋼では高温特性の向上を計っている。また高炭素鋼線材、棒鋼についても軟化処理工程の省略も検討されている。本討論会では熱間圧延の工夫による諸特性の改善と同時に工程の省略化について討論する。

2. 申込締切日 平成元年4月21日（金）
3. 申込方法 討論会参加ご希望の方は討論会申込書を下記までご請求下さい。申込用紙には必要事項ならびに申込書裏面に400字程度の講演のアブストラクトをお書きのうえお申し込み下さい。
4. 討論講演の採否 討論講演としての採否は、前記ご提出のアブストラクトにより検討のうえ決めさせていただきますので、あらかじめお含みおき下さい。
5. 講演前刷原稿締切日 平成元年6月16日（金）
討論講演として採用された方は、本会所定のオフセット原稿用紙4枚以内（表、図、写真を含む）にワープロ、タイプ印書で明りようにお書きのうえ、ご提出下さい。
6. 講演テーマ・講演者の発表 「鉄と鋼」（平成元年10月号）にて発表いたします。
7. 講演内容の発表 「材料とプロセス」（日本鉄鋼協会講演論文集）Vol. 2 No. 4, 5, 6号に講演内容を掲載いたします。
8. 問合せ・申込先 100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階
（社）日本鉄鋼協会編集課 TEL 03-279-6021